

網干区

概要

播但線を担当し塗色はエンジ色である。

Mc+M'cの2連だがラッシュ時は4両編成でも運転されている。

日中はワンマン運転を行っており、車内には整理券発行機や運賃箱が設置されている。

今後の為に、一部車両では車両の前位にパンタを増設できる準備工事を行っている他、

全ての車両に半自動ドアの開閉ボタン設置の準備工事を行っている。

外面

冷房：

A U75B オンリーである。

ドア：

Mc3501+M'c-3501のみ金棒式のドアであるが、リニューアル車のこのタイプのドアはこの2両だけであり現段階では貴重な車両である。

その他：

Mc-3503.3509には前位にパンタ台が取り付けられている。

また、Mc車にはK E 70の外側にK E 76が設置されている。

103系がK E 70以外のジャンパ栓を持つのは仙石線のK E 96とここだけである。

内面

その他：

整理券発行機が車内に設置され、また運転台後ろには運賃箱や上部には運賃表などワンマンに必要なものが設置されている。

車内の改造銘板には改造種車の車番も記載されている。

この2年間の変化

今年春に開業したが、まだ冬を越していないので、播但線での半自動ドアなしという現状がどこまで通用するのか気になるところである。